

令和 7 年度

経 営 案

事業計画書

学 校 法 人 藤 岡 学 園
飯 野 ひ か り 幼 稚 園

1 教育目標

1.1 本園の教育目標

幼児の楽しい経験の場として、家庭との連携を図りながら生活環境を整備し個人差に留意しながら集団生活を通じて自主性、社会性、創造性、健全な精神の伸張をはかる。

『幼稚園は子どもがはじめて出会う学校です。』～のびのび・すくすく・きらきらと～

- 明るく元気で友達と仲良く遊べる子にならしましょう
- 明るく生き生きとしている子ども元気な子どもにならしましょう
- 自分でできる事は、自分でする子にならしましょう
- お話をよく聞き、よく考えて根気のある子にならしましょう

特徴

- 大自然の広大な山を遊び場とし、自然体験も取り入れた保育を行っています。
- 伸び伸びとした遊びを通してくましい体力作りに取り組む。
- 年間を通じて園外保育にでかけ身体で 5 領域を直に経験させ、心身共に将来円満な人間として成長していくよう基礎を作る。
- 年間を通し幼稚園保育時間内でのスイミング指導。(年中・年長)
- 年間を通し幼稚園保育時間内での体育指導。(年中・年長)

1.2 経営方針

1. 小学校就学前の子どもに対する教育及び保育並びに保護者に対する子育て支援の総合的な提供を推進するための措置を講じ、よって地域において子どもが健やかに育成される環境の整備に資することを目的とする。
2. 人づくりの根本の幼児期に愛情豊かな生命を尊重する心を育てる。また、集団生活を通じて自主性、社会性、創造性の伸長を図り、バランスの取れた心身の発達を図りながら、より良い人間形成の基礎を養う。

1.3 重点努力目標

- 一人の人としてよく見守り、その子にあった援助をする
 - 人間として育っていくための土台づくり。社会のルールを知る
 - 自分と相手への思いを感じる
- ① 基本的生活習慣や態度の育成
 - ✓ あいさつや返事をきちんとする
 - ✓ 友だちとのかかわり方、相手に対する思いやりの気持ち
 - ✓ 身の回りのことを自分で行い、物を大切にする
 - ② 保育指導の充実
 - ✓ 信頼関係を基盤に、教育的な配慮の繰り返して保育を行う
 - ✓ 行動から思いを読み解き、気持ちに寄り添う配慮を心がける
 - ✓ 保育者自身が一番の環境物であるという事を常に認識し、保育にあたる
 - ③ 保育内容の充実
 - ✓ ねらいをもって生活環境・教育環境を整え、興味・創造を引き出す努力をする
 - ✓ 感じたことや考えたことを表現することを楽しみ、豊かな感性や発想力が育っていくよう道筋を示す
 - ✓ 一つのことを乗り越える我慢強い心と根気を作る

2 園の組織

2.1 園の規模および教職員表

令和7年3月18日現在

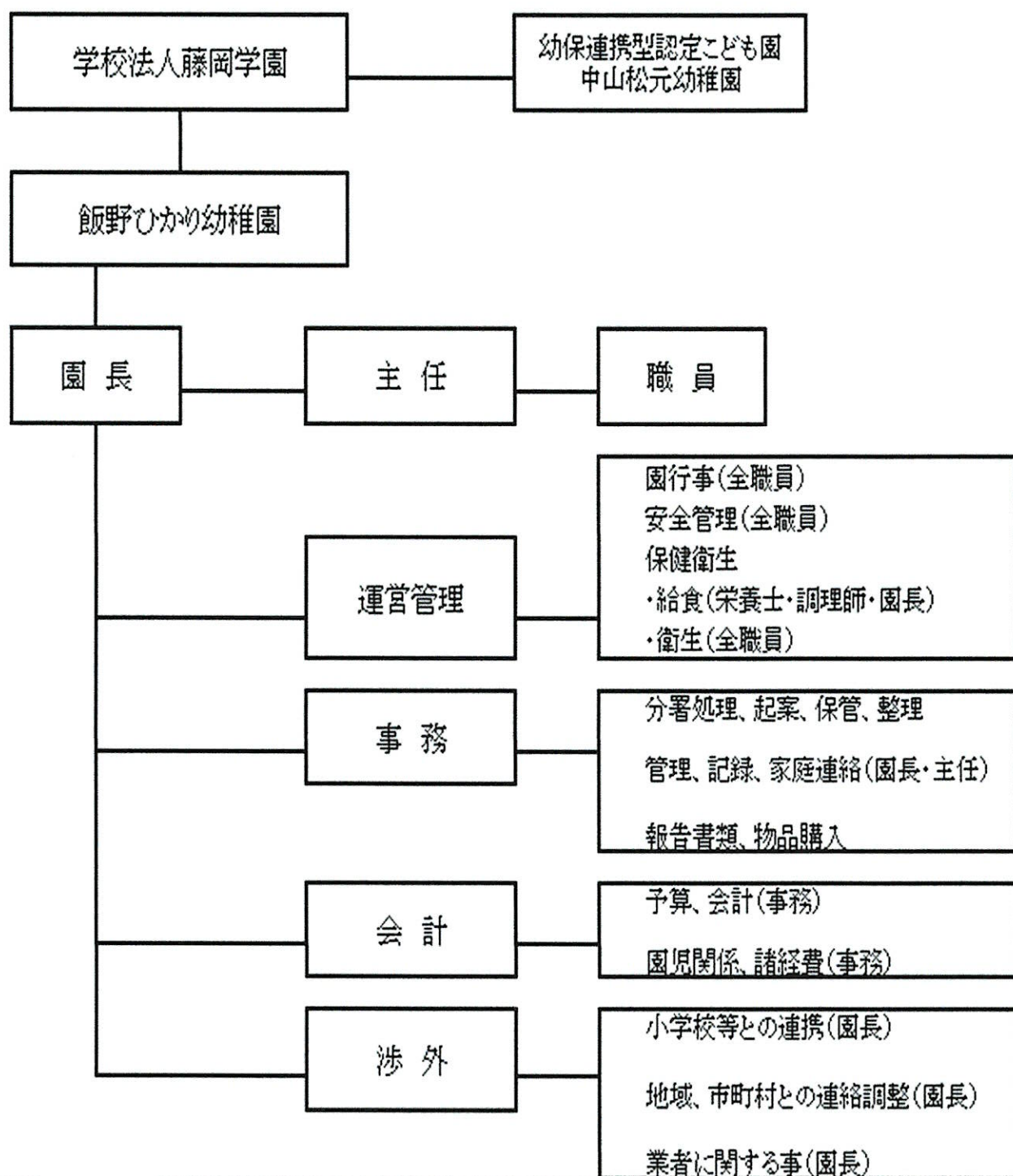
[illegible]

嘱託内科医	たなかクリニック 田中 一正 〒470-0451 豊田市藤岡飯野町井ノ脇 414	6月中旬 身体測定	年1回 毎月
嘱託歯科医	つるた歯科 鶴田 博昭 〒457-0004 名古屋市中江 2 丁目 10-22	7月上旬	年1回
学校薬剤師	山田 寿美子 〒470-0394 豊田市平戸橋町浪岩 7 番地 7		年6回

利用定員

認定区分	利用定員
1号認定	55

2.2 運営機構



3 教育計画

3.1 保育課程

	おおむね3歳	3歳児クラス	4歳児クラス	5歳児クラス
	自律・自立の一步 時期	自己主張と自立への意 欲を築く時期	自己表現し、相手の思いを知 る時期	目的をもち、みんなで一つのものを つくりあげる時期
発達 の 主 な 特 徴	●保育者や周りの子がしていることに興味をもち、真似をしたり、見立てたりする時期。 ●保育者や周りの子と同じことをしたり、一緒にいたりすることの心地よさを感じたりする時期。	●保育者や新しい環境に親しみ、安心して過ごす。 ●保育者と一緒に気に入った遊びを十分に楽しむ。 ●好きな遊びや場で、保育者や気の合う友達と触れ合って遊ぶ。	●保育者に親しみをもち、安定して過ごす。 ●保育者を頼りにして、自分のしたい遊びをしたり、遊びたい友達と一緒に過ごしたりする。 ●自分の思いを出す中、友だちの気持ちを知りながら一緒に遊ぶ。 ●何かをしようとする目的に一生懸命やろうとする。	●年長児としての喜びや自覚をもって生活をする。 ●自分の思いや考えを互いに出し合いながら、気の合った友達と一緒に遊びを進める。 ●友達と共通の目的をもち、試したり工夫したりして、互いに認め合いながら遊びや生活を進める。 ●友達と力を合わせて取り組む中で、満足感や充実感を味わい、自信をもって行動する。
ねらい 保育者の姿勢と関わり	【養護面】 保育は一人一人の人格ある人間として子どもが接しあっている自分の出せる言葉・感情・行動を大切に、一人一人の子どもの成長・発達を把握し、その子に合った保育を進めて行く。 だだねえいややがかった場合は大人が気持ちを十分に受け止めてしっかり向き合っていく。また、気持ちを立て直せるようは援助していく。薄着を心掛けて過ごす。 水分補給を十分意識する。 【教育面】 先生に親しみをもち喜んで登園する。 幼稚園に親しみ手洗いや、用便、衣服の着脱が身につくようになる。 身近な道具、用具を使い十分に体を動かして遊ぶことを楽しむ。 自分の好きな遊びを見つけて楽しむ。遊びの中で自分の思いや要求を相手に伝えようとする。 友達や、保育士と遊びをしながらも必要な約束、きまりがあることを知る。また保育士や友達の言うことを聞き入れる。 異年齢の子どもに関心をもち、かわりを広める。 身近な動植物や自然事象に親しみそれらに愛情や関心を持つ。 身の回りの人々の生活に親しみ、身近な社会の事象に関心をもつ。 人の話を聞いたり、自分の経験したことや思っていることを話したりして、言葉で伝える楽しさを知る。 絵本、童話、視聴覚教材などを見たり聞いたりして、イメージを広げ、言葉が豊かになる。 感じたことや思ったこと、想像したことを様々な方法で表現する。 簡単なリズム遊びをしながら創作ダンス、カスタネット、スズ、メロディオン等を楽しむ。(赤ちゃんのリズム・メロディオンはドレミまでの音源を使う) 友達との関わりの中で自分をのびのびと発揮する。	【養護面】 保健的で安全な環境をつくり、快適に生活が出来るようにする。一人一人の子どもの欲求を十分に満たし、生命の保持と情緒の安定を図る。 友達と楽しく食事をし、様々な食べ物を食べる楽しさを味わうようにする。 一日の保育の流れの中で適切な休養をとり充実した活動が出来るよう配慮する。 園庭の整備や安全点検を行い、十分な戸外遊びが出来るようにする。 【教育面】 先生に親しみをもち喜んで登園する。 幼稚園に親しみ手洗いや、用便、衣服の着脱が身につくようになる。 身近な道具、用具を使い十分に体を動かして遊ぶことを楽しむ。 自分の好きな遊びを見つけて楽しむ。遊びの中で自分の思いや要求を相手に伝えようとする。 友達や、保育士と遊びをしながらも必要な約束、きまりがあることを知る。また保育士や友達の言うことを聞き入れる。 異年齢の子どもに関心をもち、かわりを広める。 身近な動植物や自然事象に親しみそれらに愛情や関心を持つ。 身の回りの人々の生活に親しみ、身近な社会の事象に関心をもつ。 身の回りの人々の生活に親しみ、身近な社会の事象に関心をもつ。 人の話を聞いたり、自分の経験したことや思っていることを話したりして、言葉で伝える楽しさを知る。 絵本、童話、視聴覚教材などを見たり聞いたりして、イメージを広げ、言葉が豊かになる。 感じたことや思ったこと、想像したことを様々な方法で表現する。 簡単なリズム遊びをしながら創作ダンス、カスタネット、スズ、メロディオン等を楽しむ。(赤ちゃんのリズム・メロディオンはドレミまでの音源を使う) 友達との関わりの中で自分をのびのびと発揮する。	【養護面】 保健的で安全な環境をつくり、快適に生活が出来るようにする。一人一人の子どもの欲求を十分に満たし、生命の保持と情緒の安定を図る。 食べ物の好き嫌いを言わないで、楽しんで食事をとるようにする。 一日の保育の流れの中で適切な休養をとり充実した活動が出来るよう配慮する。 夏の園生活が快適に過ごせるように、涼しい環境作りをする。 戸外遊びが多くなるので、活動と休息のバランスに心がける。 園庭の整備や安全点検を行い、十分な戸外遊びが出来るようにする。 寒さに負けないで、健康な生活がおくれるようにする。 落ち着いた雰囲気の中で、安定した気持ちで生活できるようにする。 【教育面】 自分でできることの範囲を広げながら、健康、安全など生活に必要な基礎的習慣や態度を身に付ける。 安全や危険の意味やきまりがわかり、危険を避けて行動する。 様々な道具や用具を使い、集団遊びや、やや複雑な運動を行うなど、様々な遊びを楽しむ。 回りの人々に対する親しみを深め、集団の中で自己主張したり、人の立場を考えながら行動する。 異年齢の子どもたちと遊ぶ楽しさを味わう。 身近な環境や、自然とふれ合う中で、自分たちとの生活との関係に気づき、それらを取り入れて遊ぶ。 戸外で体を動かして心地よさを感じ色々な遊びを楽しむ。元気に運動会に参加し体力の増進をはかる。 日常生活に必要な事物をみたり、扱ったりなどして、その事物の性質や存在に興味を持ったり、数、量、形などへの関心を深める。 様々な機会や場で活発に話したり、聞いたりして、生活の中で適切に言葉を使う。 絵本、童話、視聴覚教材などを見たり聞いたりして、その内容や面白さを楽しみ、イメージが豊かになる。 身近な社会や自然事象への関心が高まり、様々なものの面白さ、不思議さ、美しさなどに対して感性を豊かにする。 感じたこと、思ったこと、想像したことなどを工夫して、様々な方法で表現する。 メロディオン、様々な楽器とふれあい楽しみながら伴奏に合わせリズムを刻めるようにする。 主体的に園生活に取り組み、進級を楽しみにする。	【養護面】 保健的で安全な環境をつくり、快適に生活が出来るようにする。一人一人の子どもの欲求を十分に満たし、生命の保持と情緒の安定を図る。 食べ物の好き嫌いを言わないで、楽しんで食事をとるようにする。 一日の保育の流れの中で適切な休養をとり充実した活動が出来るよう配慮する。 夏の園生活が快適に過ごせるように、涼しい環境作りをする。 戸外遊びが多くなるので、活動と休息のバランスに心がける。 園庭の整備や安全点検を行い、十分な戸外遊びが出来るようにする。 寒さに負けないで、健康な生活がおくれるようにする。 落ち着いた雰囲気の中で、安定した気持ちで生活できるようにする。 【教育面】 年長になった喜びをいだし、自覚を持って活動する。新入園児をいざわり世話をする。 新しい環境になれ、保育士や友達と遊びや運動を楽しむ。 年長児としての自覚を持ち、生活に必要なきまりが分かっている行動する。 新しい環境の中で豊かな人間関係を作っていく健康な生活の仕方がわかり、身の回りのことは自分でしようとする。 ルールを共有して力を出し切り競争する楽しさを感じる。 友達と協力して、戸外でいろいろな運動やきまりのある遊びを楽しむ。 身近な自然に興味や関心を持ち、自然物を使って様々な遊びを楽しむ。 生活の中で、健康や安全などの基本的な習慣や態度を身に付ける。 友達と考えを出し合い工夫しながら遊びを進めていく楽しさを感じる。係りや当番の仕事を自分達で協力しながら行う。 体や病気について関心を持ち、健康な生活に必要な基本的な習慣や態度を身に付ける。 大勢で、共通のイメージを持ってやりとげる喜びを感じる。 自分の思ったことや感じたことを様々な方法で表現し、意欲的に活動に取り組む。 大きくなったことを喜び、自覚や自信を持って行動する。 仲間一人一人のよさを認めながらみんなでイメージや遊びを共有することの充実感を味わう。 新しい生活に希望を持ち大きくなることに夢を持つ。残り少ない幼稚園生活を友達、先生と共に過ごし楽しむ。

3. 2食育計画

	満3・3歳児	4 歳児	5 歳児
4 月	●よく噛んで食べる。 ●食後にうがいをする。	●新しい友達や保育者といっしょに、昼食を食べることを楽しむ。 ●昼食の前に、トイレに行くことや手洗い、うがいをする習慣を、身につけられるように声をかける。	●夏野菜、稲、とうもろこしなどの実りを確かめ、自分たちの手で収穫し、調理し、みんなで食べる。一連の野菜への関わりを通して、より興味や関心、理解が深まり、食への感謝が育まれていくようにする。 ●中秋の名月には収穫物を供え、お月見だんごを作って食べ、日本の伝統文化や行事を実感する。
5 月	●初めての食材に触れたり、友達と同じ物を食べる楽しさを味わったりする。 ●野菜の種をまいたり苗を植えたりして、生長や収穫に期待をもつ。	●昼食を楽しみながら、食べられてうれしいという気持ちをもつ。 ●野菜を種から育てることで、生長を観察したり、水やりしたりできるようにする。	●保護者ボランティアも加わる週1回の「手作りおやつ」が開始になる。多くの子が調理に興味をもっている。ただし、アレルギーに注意する。 ●いもを苗を植え、秋の収穫やスイートポテト作りを楽しみにする。
6月	●野菜の収穫や収穫物を生かした活動を通して、興味、関心を深める。 ●みんなで同じものを食べることを喜ぶ。 ◆箸への移行を意識づけられるようクラスだよりで家庭に発信する。	●昼食の時間が楽しくなるよう、明るい雰囲気作りをする。 ●よく噛んで食べることの大切さを伝える。 ●食べる楽しさを感じつつ、歯磨きの大切さを意識し、取り組む。	●クッキー作りの手順やこつを調べたり、友達と協力して活動するなかで、感触や匂いなどを通して食材の特徴に気づいたりする。
7・8月	●5月に植えたきゅうり、ミニトマト、枝豆などの生育に興味をもち、自分で育てた野菜を収穫して食べる喜びを感じる。 ●いろいろな食べ物に慣れる	●器や箸の持ち方に気を付けて食べる。 ●育てた野菜を簡単に調理して食べることで、野菜に親しみをもつ。	●キュウリ・オクラを収穫しお楽しみ会の時に晩御飯としてトッピングで食べる。 ●全員で感謝の気持ちをもって楽しく夕食をとる。食材の栄養を考える場でもある。
9月	●野菜の種まきをし、収穫に期待をもつ。 ●当番活動(牛乳を運ぶ等)を行って、食事のマナーを身につける。 ●好きなものを喜んで食べる ●お月見団子をみんなで作る。	●お月見だんごを作って食べて、行事と食の関連を知る。	●夏野菜、稲、とうもろこしなどの実りを確かめ、自分たちの手で収穫し、調理し、みんなで食べる。一連の野菜への関わりを通して、より興味や関心、理解が深まり、食への感謝が育まれていくようにする。 ●中秋の名月には収穫物を供え、お月見だんごを作って食べ、日本の伝統文化や行事を実感する。
10 月	●戸外で友達と交流しながら、弁当を食べる楽しさや解放感を味わう。 ●さつまいもの収穫を行い、焼きいもを楽しむ。	●さつまいもを収穫する喜びを感じたり、友達といっしょに食べることを楽しんだりする。	●自ら植えた稲やさつまいもを収穫し、みんなで食べる経験や、生長や食文化、自然の恵み(命の育ち)を考えたり実感したりする。 ●焼き芋だけでなく調理をしていく事で、違ったお芋の食べ方などに気づく。また調理を行って行く中で、係としての責任を感じながら、ていねいに調理する。
11 月	●茶碗は左側に置くなど、準備のしかたを伝える。 ●茶碗を持って、よい姿勢で食べられるようにする。	●バザーでいろいろな食べ物に触れたり、食べることを楽しんだりする。	●食欲の秋。旬の食べ物をおいしく食べると元気な体になることや、いろいろなものを食べると栄養のバランスがよいことなど、「食と健康」について気づいていく。 ●みんなで和やかに弁当を食べるためにはマナーが必要なことや、箸を正しく持つ大切さに気づいていく。
12月	●箸への移行を意識づけられるよう、クラスだよりで家庭に発信する。 ●クリスマス、お正月ならではの食事に興味をもてるようにする。 ●もちつきでは、もち米がもちに変化していく様子に興味を持ち、自分できねを持ってもちつきをする。	●蒸しあがったもち米を味わって、もちつきに興味をもてるようにする。 ●もちについて知っていることを話し合い、お正月の準備にもちつきをすることや、鏡もちを飾る意味などを伝える。	●落ち葉たきは、屋外で火をおこして、その火で餅米やさつまいもを蒸したり焼いたりする日本の伝統的な冬の楽しみの1つです。野火のできる場所を選び、消火のための水を準備するなどしたうえで、楽しむ。
1 月	●箸の正しい使い方を身につける。	●おせち料理の意味、七草がゆの名前、餅の種類などを、日本の伝統として伝えていく。 ●箸やスプーンの持ち方や、食べる時の姿勢などを再確認する。	●年が明け、おせち料理や七草がゆ、鏡開きの餅、ぜんざいなど、行事や節目にちなんだ食べ物を知り、それらの文化的な意味や由来を知ったり考えたりする。

2月	●節分の意味を知り、みんなで豆を食べる。 ●ご飯給食の際には、正しく箸を持つ、茶碗を持って食べるなど、食事のマナーを身につけられるようにする。	●風邪予防のためにはバランスの良い食事が大切なことを話し、食事と健康について関心をもたせる。 ●食べ物には、体を温める力があること、どんな食べ物にもその力があるのかを話し、食べ物と体の管家に興味をもてるようにする。	●自分の健康を守るために、手洗いや睡眠、食事などの大切さを知り、偏食のマイナス面に気づいたり、箸の持ち方や食事のマナーなどのよい食習慣について考えるよう指導する。同時に、小学校の給食へも不安なく期待をもてるようにしていく。また、食材カードを使って、栄養素の役割を考える。
3月	●お別れ会で異年齢児と給食をいっしょに食べる楽しさを味わう。	●ひなあられ、ひしもちなどひな祭りの時に与えられる食べ物について知らせる。	●3、4歳児といっしょに弁当を食べたり、お別れパーティーで3、4歳児の手作り軽食を食べたり、保護者を招待して「ありがとうのお茶会」を開いたり、修了前は思いや感謝を伝え合う場として「食」が多く関わる。ずっと弁当を作ってくれた人への感謝の気持ちを言葉や手紙で伝えるなど、実りある内容になるよう心がける。

3.3 年間行事予定

4月	7日(月) 始業式 (半日保育) 11時降園 10日(木) 入園式 (進級児休園) 15日(火) 1日保育【14時降園】 役員会【10時より】	18日(金) 父母の会総会 21日(月) 竹の子掘り (年長) 22日(火) 竹の子掘り予備日(年長) 29日(火) 昭和の日(休園)
5月	1日(木) 平常保育開始(15時降園) 3日(土) 憲法記念日(休園) 4日(日) みどりの日(休園) 5日(月) 子どもの日(休園)	6日(火) 振替休日(休園) 10日(土) 山の親子参観日 12日(月) 代休(休園) 19日(月) 衣替え
6月	16日(月) 水遊び開始	
7月	5日(土) 夏祭り 7日(月) 代休(休園) 18日(金) 終業式(半日保育)	21日(月) 海の日(休園) 22日(月)～23日(水) 個人懇談会 25日(金) お楽しみ会
8月	21日～22日 夏期保育(1日保育)	
9月	1日(月) 新入園児願書配布 始業式(半日保育) 2日(火) 1日保育 給食開始	15日(月) 敬老の日(休園) 20日(土) 入園説明会 23日(日) 秋分の日(休園)
10月	1日(水) 入園願書受付 12日(日) 運動会 予備日 13日(月)	14日(火) 代休(休園)
11月	3日(月) 文化の日(休園) 8日(土) 新入園児入園検定 23日(日) 勤労感謝の日	24日(月) 振替休日 26日(水) 学校評価
12月	5日(金) クリスマス会 12日(金) もちつき 15日(月) 新入園児制服注文	19日(金) 個人懇談会(半日保育) 22日(月) 個人懇談会(半日保育) 23日(月) 終業式 個人懇談(半日保育)
1月	7日(水) 始業式(半日保育) 8日(木) 一日保育 給食開始	12日(月) 成人の日(休園) 31日(土) 保育発表会→2月1日(月) 代休
2月	3日(火) 豆まき 6日(金) 半日保育 11日(水) 建国記念の日(休園)	17日(火) 新入園児文具・制服渡し 23日(月) 天皇誕生日 27日(金) 保育参観日
3月	6日(金) お別れ行事 10日(火) 新入園児打ち合わせ会 20日(金) 春分の日(休園)	23日(月) 卒園式 24日(火) 修了式(半日保育)

※上記の表は令和7年3月1日現在の予定(変更の可能性あり)

3.4 一日の流れ

時間	活動	内容
8:00～ 10:15	登園 自由遊び 片付け	各コースの先生と一緒に幼稚園に登園 先生やお友達に挨拶をします。 保育室に入り、おはようノートにシールを貼ります。 体操服に着替えます。 身支度の出来た子から園庭にて遊びます。 遊具、玩具等の片付けをします。
10:15	体操 朝の挨拶 主活動	晴天時は園庭で集まり、雨天時は遊戯室にて体操を行います。手洗い、うがい、排泄後保育室へ移動します。 各クラスのカリキュラムに基づいて、その日の子どもの活動を想定しながら保育を展開していきます。
11:30～ 13:00	昼食	休息、昼食、食事指導、片付け。 自由遊び（晴天時園庭又は、保育室）
13:00～ 14:30	主活動 自由遊び	各クラスのカリキュラムに基づいて、午後からの子どもの活動を想定しながら保育を展開していきます。 自由にのびのび体を動かし友だちの輪を広げる。
15:00	降園	身支度、持ち物確認、お帰りの挨拶 各コースにて順次降園します。

基本保育 8:00 ～ 15:00 基本保育料

延長保育 15:00 ～ 18:00 基本保育料+預かり保育料【10分50円】

休園日 土曜・日曜・祝日・年末年始・春・夏・冬休み

長期休業日預かり保育

基本保育 8:15 ～ 15:30【1日1,500円 10日以上申し込み 15,000円】

延長保育 15:30 ～ 18:00【1日800円 10日以上上記申込+8,000円】

※2号認定の子は1日500円で計算する。

定員数 20～25名

子育て支援事業

5月～12月までに 年11～12回

内容 親子で製作遊びや、サーキット遊び、子育て相談など

3.4 「避難訓練指導計画」及び「避難訓練年間計画」

【目標】

1. 園生活における災害に備えて、必要なことがらを理解する。
2. 保育教諭の指示に従って、早く安全な場所に避難させる。

【教諭の配慮】

1. 子どもたちの安全を第一に考える。
2. 保育教諭は常に子どもの確認ができるような体制をとる。早朝・延長土曜保育など、保育教諭交代等があるときは注意し、その場の状況に応じて行動がとれるようにする。
3. 冷静沈着に行動を指示し、子どもに不安感を抱かせないようにする。
4. 常に整列を習慣づけ、非常時に備える。
5. 避難名簿、救急薬品を常備し、常に非常口や避難経路の確認をする。
6. 火気使用の取り扱いには十分注意し、火災・地震・その他の災害についての基礎知識を身につける。
7. 避難集合場所で必ず人員点呼し、園長に報告する。
8. 訓練終了後は評価・反省をし、次回に生かすようにする。

火 災

- 窓や戸を閉める
- 火元付近には近づかない状況に注意し、瞬時に避難経路を判断し誘導する

地 震

- 戸を開けて、避難時の出口を確保する
- 地震発生時は、机の下または、落下物のない安全な場所に体を丸めて座らせる
- 揺れが収まった後は、周囲の状況(ガラスの破損・落下物・家具等の破損や倒壊)を瞬時に判断し誘導する
- 建物を離れる際は、電気復旧時の火災予防のためコンセントなどの電源類を切る
- 戸外活動の際は、園庭の中心に集まり体を小さく丸め身を守り、揺れがおさまるまで動かない

警戒宣言が発令された場合

- 情報の収集と行政機関からの指示に従い措置をとる。園児への安全と職員への指示、施設の管理を十分に行う
- 保護者への連絡と同時に随時のお迎え対応、避難の準備をすすめる

不審者侵入

- 不審者かどうかを見分ける
(例)職員室・事務室で受け付けた人かどうか声をかけて要件を訪ねる
◇ 不自然な行動や発言、不審なものや凶器をもっていないか
- 不審者を刺激しないよう丁寧に退去するよう促す。(相手の言葉や態度に注意する)
- 不審者が説得に応じない、暴力的な様子が見られる場合は侵入者がいることを通報する
- 子どもたちを安全な場所に避難誘導する
- 負傷者が出た場合には、迅速に通報する(119番通報)
- 救護が到着するまでの間、応急手当をする
- 負傷者の搬送先等、事故後の対応や措置を早急に実施する

- 第一避難場所……<幼児>幼稚園園庭
- 水害時避難場所…<幼児>各園舎2階
- 第二避難場所……<幼児>藤岡体育センター

非常配備体制連絡網 連携による交流活動

- 中学校区の地域交流会に参加し、地域の学校・幼稚園・こども園・交流館との情報交換を行う
- 子育て広場(体験教室)を通じ未就園児との交流を持つ

〈年間予定〉

	内 容
6 月	・防災頭巾のかぶり方の確認 ・お迎え引き渡し訓練
9 月	・避難経路確認
11 月	・総合的な訓練 ・戸外避難訓練

※防災くんを6月に行う

※地震、火災、不審者の避難訓練形態は11月の総合訓練を行う前に決める。

3.5 安全計画

〈遊具点検〉

- ・毎朝、遊具点検を行う
- ・年1回業者（㈱ヤマユウ）による遊具点検を行う

3.6 環境教育

- 環境について意識し、情報を得られるよう絵本や紙芝居などの環境を整える
- 散歩や園外保育での「発見・体験・体感」と絵本や紙芝居から得た「情報・知識」をつなげられるような環境設定を行う

3.7 人権・虐待・障がいのある幼児などに対する指導の計画

- 該当する幼児の入園、該当の心配のある幼児がある場合は、他の幼児との関わりを大切にし、受け入れられる態勢を整える
- 職員が「人権」に関しての知識をもち、使用する言葉や、保育・教育の進め方について学ぶ
- 職員同士、職員と保護者、保育教諭と子ども、様々な関係における環境や思考の「違い」を認め、お互いが興味を持てるような視野を持つ
- 地域助産師を招き、保護者への公演・園児向け授業（人権についてのお話）を行っていく

4 園内研究

【テーマ】

運動能力を優秀にするには ～ うんてい遊びを通して～

【ねらい】

- うんてい遊びを通して、バランス感覚や体の使い方を覚えていく。
- 脳、脊椎に刺激を促し発達、発育にアプローチしていく。

【研究方法】

- 日々の保育の中で、年齢や発達、興味、に合ったあそびを実施する。
- 研究保育や実践記録検討を通じて、具体的な遊び方や援助の在り方を探り、保育力の向上を図る

【共通理解する保育課題・ねらい】

● 【自然環境保育の推進】

生き物の取り扱い方や育て方など職員間で話し合いの場を多く持ち、情報共有する中で、より子どもたちが自然に興味を持てるような保育内容と環境設定を実践していく。

● 【共通理解と保育計画】

計画的に他学年との関わりを持ち、良い関係を築く。

● 【仕事に対する基本的な考え方の見直し】

経験者や新人を問わず、社会人として基本的な知識やマナーを見直し、再確認する中で、担任一人ひとりがクラス担任という自覚と責任を持ち、クラス運営をしていく。また、計画をきちんと立てて見通しを持った保育をしていくには、どうしたら良いかを考え実践し振り返りをしっかり行い次につなげて行く。

【スキル研修計画】

園 長	園長・主任研修会【年3回】 環境研修① 環境自然研修 共主体保育研修
幼稚園教諭	幼児教育課程講座【年3回】
幼稚園教諭	中堅保育者研修会【年3回】
幼稚園教諭	子育て支援研修会【年3回】
幼稚園教諭	障害者特別支援研修会【年3回】
幼稚園教諭	新人教育研修会【年8回】
幼稚園教諭	2年目教育研修会【年3回】
幼稚園教諭	3年目教育研修会【年3回】
幼稚園教諭	幼稚園教育要領研修会【年3回】

職員会議

- ・運営管理を円滑に行うために以下の園内会議を勤務時間内にて行う
- ・リーダー会議 終礼後必ず
- ・クラス会議 終礼中
- ・各行事会議 終礼中
- ・給食会議 アレルギーの誤食の確認 年1回
- ・健康管理会議 内科検診後 流行性病が発症し出したとき
- ・怪我事故交通 月1回

5 園評価

- 保護者の園評価のアンケートを行う
- 職員は毎年目標をたて、自己評価を行う
- 法人内研修において、各園長と意見交換を行い、自園評価につなげる
- 地域、第三者の方からのご意見を集め、園評価につなげる
- 法人園主会を行う

地域交流

- ・中高生のボランティアを積極的に受け入れて、地域貢献に繋げる。
- ・積極的にお祭りや、運動会などの行事、敬老会等に参加する。
- ・田植え・稲刈り等積極的に参加。
- ・園の行事にも参加していただけるよう声掛けを行う。
- ・地域会議 小町会議 学校会議など積極的に参加する。

6 事業計画

- ・ 幼児用机 幼児用椅子 2,500,000円
【愛知県施設設備補助金1/3】
- ・ 外遊具電灯塗装工事 500,000円
- ・ 発電機 180,000円
- ・ 非常時 乾式ライト 100,000円
【豊田市施設設備強化加算】
- ・ ぴかぴか山開発計画 天竜造園 稲屋 山のプランナー 750,000円

7 園地・園舎

園所在地	〒470-0451 豊田市藤岡飯野町池下 1070-3
TEL	0565-76-5550
FAX	0565-76-5550
Mail Address	iino@hm9.aitai.ne.jp
URL	http://www.iinohikari.ed.jp/

7.1 園舎面積表

鉄筋コンクリート造陸屋根地下1階付2階建て

延面積:953.71 m² 1階 545.98 m² 2階 349.85 m² 地階 57.88 m²

部屋名	計算式	面積	階数
保育室(1)⑩	$9.65 \times 5.8 = 55.97$	55.97 m ²	1階
保育室(2)⑪	$7.5 \times 7.1 = 53.25$	53.25 m ²	1階
ゆうぎ室 ⑫	$9.65 \times 13.06 = 126.029$	126.03 m ²	1階
給食室 26	$5.35 \times 4.1 = 21.935$	21.94 m ²	1階
幼児用便所 ⑬		13.79 m ²	1階
職員室 28		36.00 m ²	1階
その他	廊下等	239.00 m ²	1階
1階計		545.98 m ²	

部屋名	計算式	面積	階数
保育室(3)⑬	$5.8 \times 9.65 = 55.97$	55.97 m ²	2階
保育室(4)⑭	$7.5 \times 7.1 = 53.25$	53.25 m ²	2階
保育室(5)⑮	$7.51 \times 7.1 = 53.321$	53.32 m ²	2階
音楽室 ⑯	$5.55 \times 9.65 = 53.5575$	53.56 m ²	2階
幼児用便所⑯		15.75 m ²	2階
		m ²	

F-2

